

# FENCE-Explorer 操作説明書

第 3.1 版

2011 年 8 月

株式会社 富士通ビー・エス・シー



**【FENCE-Explorerの利用を始めるにあたり、必ずご一読ください。】**

●本書の目的

FENCE-Explorerとは、FENCE-ProおよびFENCE-Mail For Gatewayで作成されたファイル(以下、FENCEブリーフケース)を復号・更新するためのツールです。本説明書は、FENCE-Explorerについての導入方法および操作方法について説明しています。

※以前配布されていた“FENCE ブリーフケース復号ツール”は“FENCE-Explorer”に名称が変わりました。

●略語表記について

- ・Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Enterprise、Microsoft® Windows® 7 Ultimateを“Windows 7”と略しています。
- ・Microsoft® Windows Vista® のすべてのエディション(Home Basic、Home Premium、Enterprise、Business、Ultimate)を“Windows Vista”と略しています。
- ・Microsoft® Windows® XP Home Edition、およびMicrosoft® Windows® XP Professionalを“Windows XP”と略しています。

●商標および著作権について

- ・Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、PowerPoint、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Adobe、Acrobat、Adobe Readerは、Adobe System Incorporated(アドビ システムズ社)の商標または登録商標です。
- ・その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

●輸出規制について

本製品を輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

●動作環境について

FENCE-Explorerは、Windows XP、Windows Vista (32ビット、64ビット)、Windows 7 (32ビット、64ビット) で利用可能です。日本語、英語OSで動作します。

●前提条件および注意事項

- ・本手順書は、以下のいずれかの手段によりFENCE-ExplorerのインストーラまたはFENCE-ExplorerがPC内に存在することを前提としています。
    - FENCEシリーズ製品のCD-ROMに含まれるFENCE-ExplorerのインストーラをPC内にコピー
    - 富士通ビー・エス・シーの公開サイトよりFENCE-Explorerのインストーラ、またはFENCE-Explorer(fpbrief.exe、fpbutil.dll)をダウンロード
  - ・FENCE-Explorerをすべてのユーザにインストールしている環境でアップデートインストールを行う場合、管理者権限が必要になります。
  - ・FENCE-Explorerのアップデートインストールを行う場合、新規インストール時と同じ権限が必要になります。
  - ・Windows VistaおよびWindows 7では、管理者権限を必要とする処理が行われる場合、“ユーザー アカウント制御”画面が表示されます。本書に記載されている操作手順では、“ユーザー アカウント制御”画面に対する説明を省略します。
  - ・FENCE-Explorerの使用条件については、FENCE-Explorerをインストールする際に表示される「使用権許諾書」の内容をご確認ください。
- CHECK欄について、本書では、以下の表記を行っています。

**CHECK**

ここに記載された内容には本製品をご使用いただく際の重要な情報が含まれております。ご使用前には、必ずご一読くださるようお願い致します。

●お願い

- ・本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- ・本書は予告なしに変更されることがあります。

# 目次

---

1. はじめに.....	1
2. 導入方法 .....	2
2. 1. FENCE-Explorer のインストーラによる導入 .....	2
2. 1. 1. インストール手順 .....	2
2. 1. 2. アンインストール手順 .....	6
2. 2. FENCE-Pro V05L04 以降がインストールされている環境への導入 .....	8
2. 3. 拡張子の関連付けによる導入 .....	11
3. 利用方法 .....	14
3. 1. FENCE-Explorer .....	14
3. 1. 1. FENCEブリーフケースを開く.....	14
3. 1. 2. 格納ファイルの復号手順.....	17
3. 1. 3. 格納ファイルの更新手順.....	19
3. 1. 4. パスワードの変更手順.....	23
3. 1. 5. FENCEブリーフケースを別名で保存 .....	25
3. 1. 6. FENCEブリーフケースを閉じる.....	26
3. 2. メール本文を暗号化したFENCEブリーフケース .....	27
3. 2. 1. FENCEブリーフケースを開く.....	27
3. 2. 2. 添付ファイルの参照手順 .....	31
3. 2. 3. 添付ファイルの復号手順 .....	32
3. 2. 4. 返信用FENCEブリーフケースの作成手順 .....	34
3. 2. 5. 添付ファイルの更新手順.....	37
3. 2. 6. FENCEブリーフケースを閉じる.....	39
3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について .....	41
3. 3. 1. 格納ファイルを開くアプリケーションの制限 .....	42
3. 4. FENCEブリーフケースを閉じる際の注意事項 .....	43

<b>3. 5. FENCE-Explorerの自動更新 .....</b>	<b>44</b>
<b>3. 5. 1. FENCE-Explorer自動更新の設定 .....</b>	<b>45</b>

## 1. はじめに

FENCE ブリーフケースとは、1つまたは複数のファイルやフォルダをまとめて1つのファイルとして管理することができる仕組みです。本書では、FENCE ブリーフケースで暗号化されたファイルを参照、編集するための FENCE-Explorer の操作方法について説明しています。



### CHECK

- ✓ FENCE-Explorer では、FENCE ブリーフケースの参照および編集のみが可能です（新規作成、ファイルの追加／削除を行うことはできません）。
- ✓ FENCE-Pro V05L01、V05L02、V05L03 がインストールされている環境に FENCE-Explorer を導入した場合、FENCE ブリーフケースへのファイルの追加／削除が行えるようになります。

FENCE-Explorer のインストーラ、および FENCE-Explorer の最新版は、富士通ビー・エス・シーの公開サイトに掲載されています。最新版の FENCE-Explorer をご利用ください。

公開サイト：<http://www.bsc.fujitsu.com/services/fence/downloads/fbrief/>

## 2. 導入方法

FENCE-Explorer を導入するには、以下の方法があります。

- (1) FENCE-Explorer のインストーラによる導入
- (2) FENCE-Pro V05L04 以降がインストールされている環境への導入
- (3) 拡張子の関連付けによる導入

インストーラによる導入が困難な場合には、(3)の方法を選択してください。

以下にそれぞれの手順を記述します。

### 2. 1. FENCE-Explorer のインストーラによる導入

#### CHECK

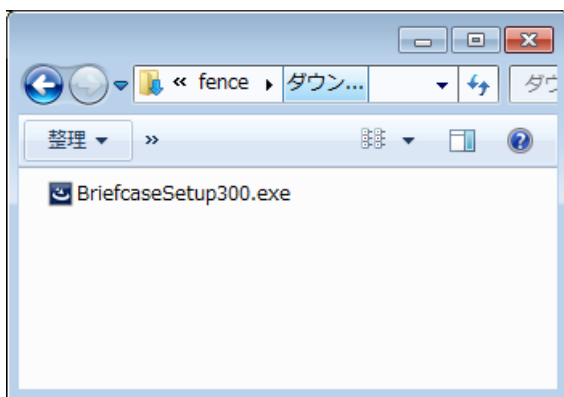
- ✓ 本書では、FENCE-Explorer のインストーラのファイル名を“BriefcaseSetup300.exe”と記載していますが、ファイル名の数字部分はバージョンアップ時に変更されます。その場合はファイル名を読みかえてください。
- ✓ FENCE ブリーフケース復号ツールがすでにインストールされている場合、通常のインストール手順(“2. 1. 1. インストール手順”)で FENCE-Explorer を導入してください。FENCE ブリーフケース復号ツールを事前にアンインストールする必要はありません。

#### 2. 1. 1. インストール手順

FENCE-Explorer のインストーラでは、「インストール対象の OS に存在するすべてのユーザ」にインストールするか、「現在ログオンしているユーザ」にのみインストールするか選択することができます。

— << 操作手順 >> —

- ① FENCE-Explorer のインストーラ(BriefcaseSetup300.exe)を任意のフォルダへ格納し、ダブルクリックして起動します。



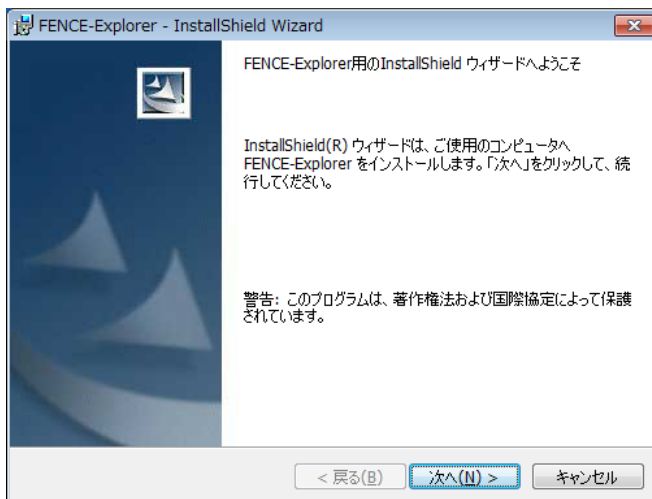
## CHECK

FENCE-Explorer をすべてのユーザにインストールする場合、または FENCE ブリーフケース復号ツールがすべてのユーザにインストールされている場合、管理者権限で起動してください。

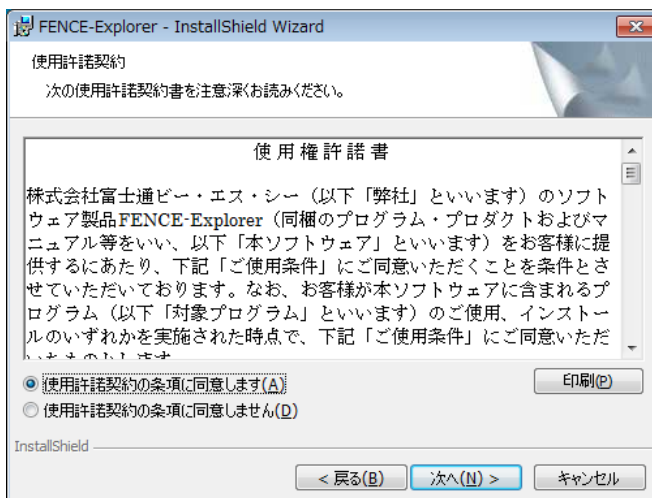
### 【管理者権限で起動する方法】

- ・Windows 7、Windows Vista の場合、FENCE-Explorer のインストーラを右クリックし、“管理者として実行”を選択します。
- ・Windows XP の場合、管理者権限でログオンするか、FENCE-Explorer のインストーラを右クリックし、“別のユーザーとして実行”を選択します。

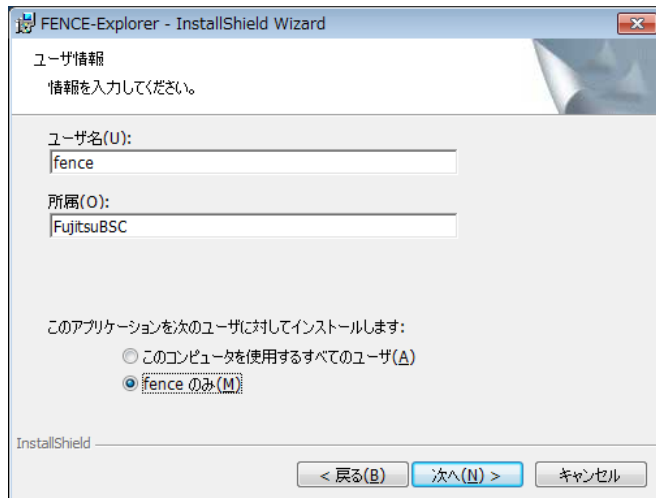
- ② “FENCE-Explorer 用の InstallShield ウィザードへようこそ”画面が表示されるので、“次へ”をクリックします。



- ③ “使用許諾契約”画面が表示されるので内容を確認の上、使用許諾契約の条項に同意する場合には“使用許諾契約の条項に同意します”を選択し、“次へ”をクリックします。



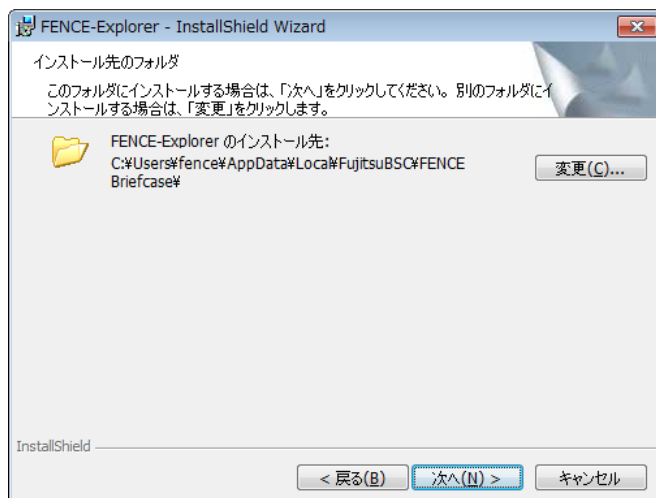
- ④ “ユーザ情報”画面が表示されるので、“ユーザ名”と“所属”に、任意の値を入力します。  
FENCE-Explorer をインストールするユーザを選択して“次へ”をクリックします。



## CHECK

管理者権限で FENCE-Explorer のインストーラを起動していない場合は、“このコンピュータを使用するすべてのユーザ”を選択することはできません。

- ⑤ “インストール先のフォルダ”画面が表示されますので、インストールするフォルダを選択して“次へ”をクリックします（“変更”をクリックすると、“インストール先フォルダの変更”画面が表示されます）。



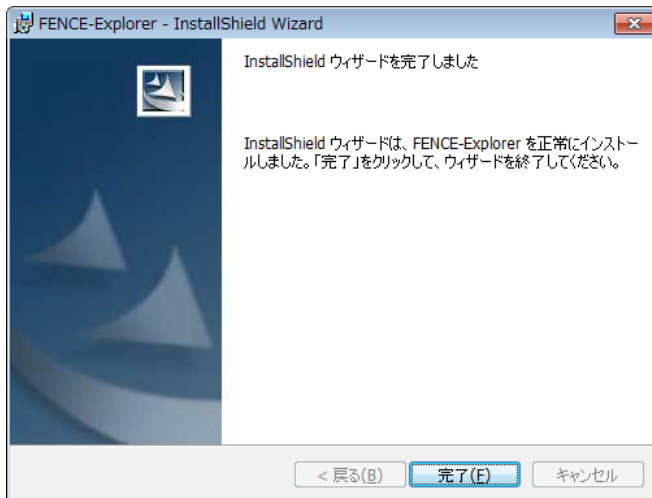
## CHECK

FENCE-Explorer をインストールするユーザによって、インストール先フォルダの初期表示が異なります。

- ⑥ “プログラムをインストールする準備ができました”画面が表示されるので、“インストール”をクリックし、インストールを開始します。



- ⑦ インストールが完了すると“InstallShield ウィザードを完了しました”画面が表示されるので、“完了”をクリックします。



FENCE-Explorer のインストールは以上で完了です。

## 2. 1. 2. アンインストール手順

### CHECK

- ✓ アンインストールを行う前に、FENCE-Explorer を終了させてください。
- ✓ インストールを行ったユーザでログオンし、アンインストールを実施してください。
- ✓ FENCE-ProV05L04 以降がインストールされている環境で、FENCE-Explorer のアンインストールは行えません。

### 《操作手順》

- ① “スタート”メニューから“コントロール パネル”を選択し、“プログラムのアンインストール”をクリックします。

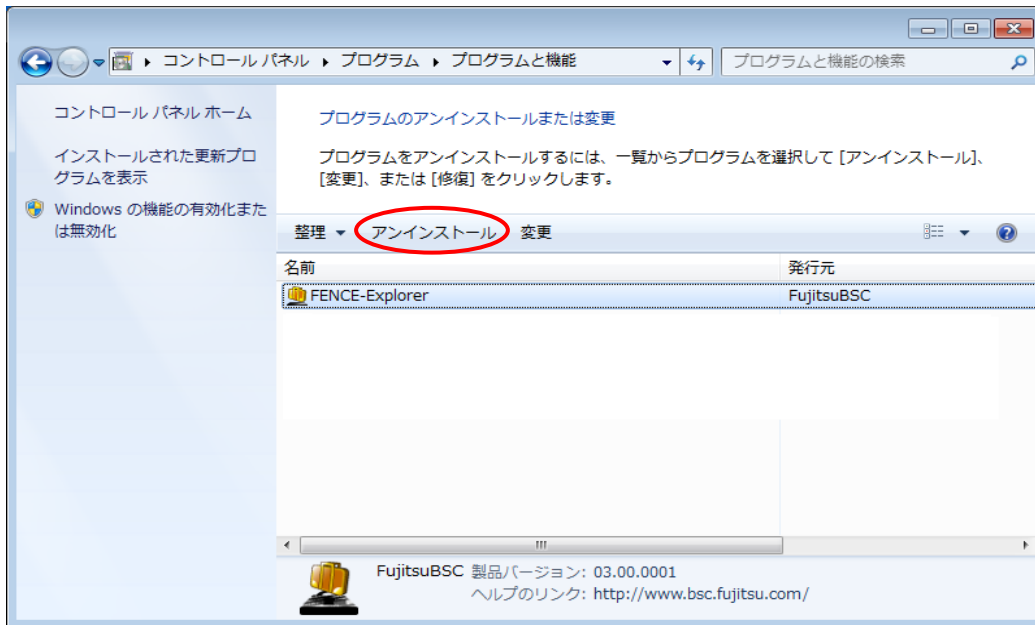


コントロールパネルの画面イメージ(Windows 7 の例)

### CHECK

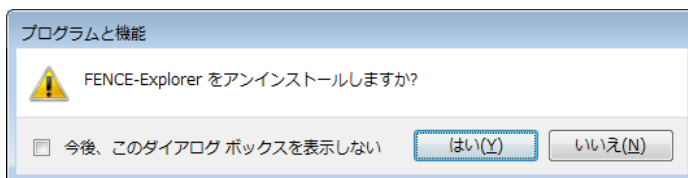
Windows XP の場合は、“プログラムの追加と削除”を起動してください。

- ② “プログラムのアンインストールまたは変更”画面が表示されるので、“FENCE-Explorer”を選択し、“アンインストール”をクリックします。



**CHECK**  
Windows XP の場合は、“プログラムの追加と削除”画面が表示されます。

- ③ 以下の画面が表示されるので、“はい”をクリックします。



- ④ アンインストールが終了すると、②の画面から“FENCE-Explorer”が削除されます。

FENCE-Explorer のアンインストールは以上で完了です。

## 2. 2. FENCE-Pro V05L04 以降がインストールされている環境への導入

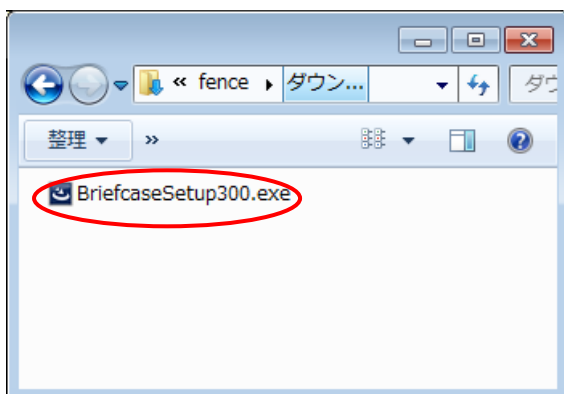
FENCE-Pro V05L04 以降がインストールされた環境へ FENCE-Explorer をインストールすることにより、FENCE-Explorer を最新バージョンにすることが可能です。

### CHECK

- ✓ 本書では、FENCE-Explorer のインストーラのファイル名を“BriefcaseSetup300.exe”と記載していますが、ファイル名の数字部分はバージョンアップ時に変更されます。その場合はファイル名を読みかえてください。
- ✓ FENCE-Pro V05L01、V05L02、V05L03 がインストールされている環境では、“2.1 FENCE-Explorer のインストーラによる導入”または、“2.3 拡張子の関連付けによる導入”の手順にてインストールを行ってください。

### — << 操作手順 >> —

- ① FENCE-Explorer のインストーラ(BriefcaseSetup300.exe)を任意のフォルダへ格納し、管理者権限で起動します。



### CHECK

#### 【管理者権限で起動する方法】

- ・Windows 7、Windows Vista の場合、FENCE-Explorer のインストーラを右クリックし、“管理者として実行”を選択します。
- ・Windows XP の場合、管理者権限でログオンするか、FENCE-Explorer のインストーラを右クリックし、“別のユーザーとして実行”を選択します。

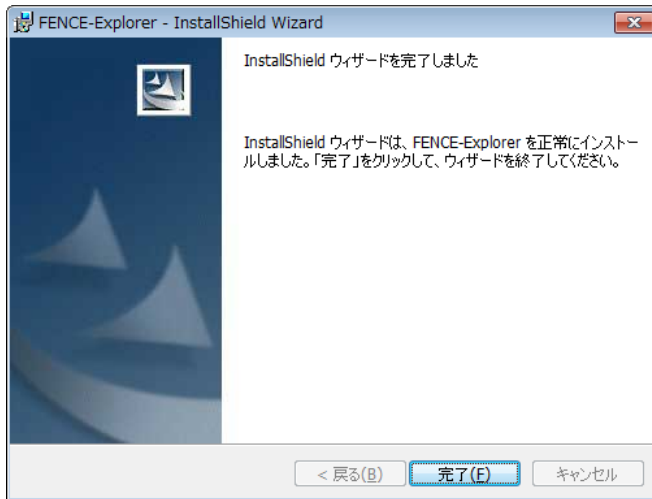
- ② “FENCE-Explorer 用の InstallShield ウィザードへようこそ”画面が表示されるので、“次へ”をクリックします。



- ③ “プログラムをインストールする準備ができました”画面が表示されるので、“インストール”をクリックし、インストールを開始します。



- ④ インストールが完了すると“InstallShield ウィザードを完了しました”画面が表示されるので、“完了”をクリックします。



FENCE-Explorer のインストールは以上で完了です。

### 2. 3. 拡張子の関連付けによる導入

インストーラによる導入が困難な場合、拡張子の関連付けを行うことにより、FENCE-Explorer を導入できます。

#### CHECK

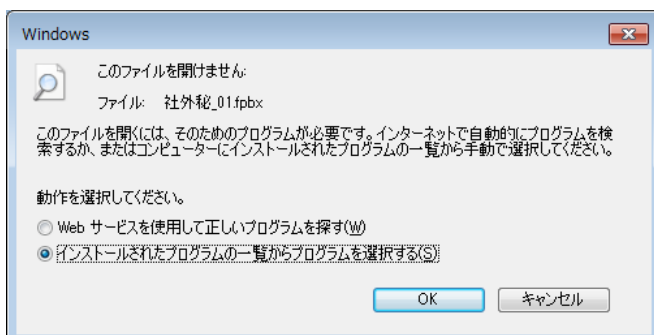
FENCE プリーフェース復号ツールを拡張子の関連付けで導入している場合、ファイルを入れ替えてアップデートしてください。

#### 「操作手順」

- ① FENCE-Explorer (fpbrief.exe、fpbutil.dll)を任意のフォルダへ格納します。
- ② FENCE プリーフェースを任意のフォルダへ格納し、ダブルクリックして開きます。

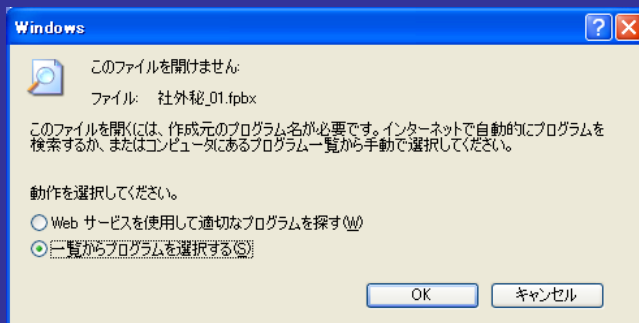


- ③ 以下の画面が表示されます。“インストールされたプログラムの一覧からプログラムを選択する”を選択し、“OK”をクリックします。



#### CHECK

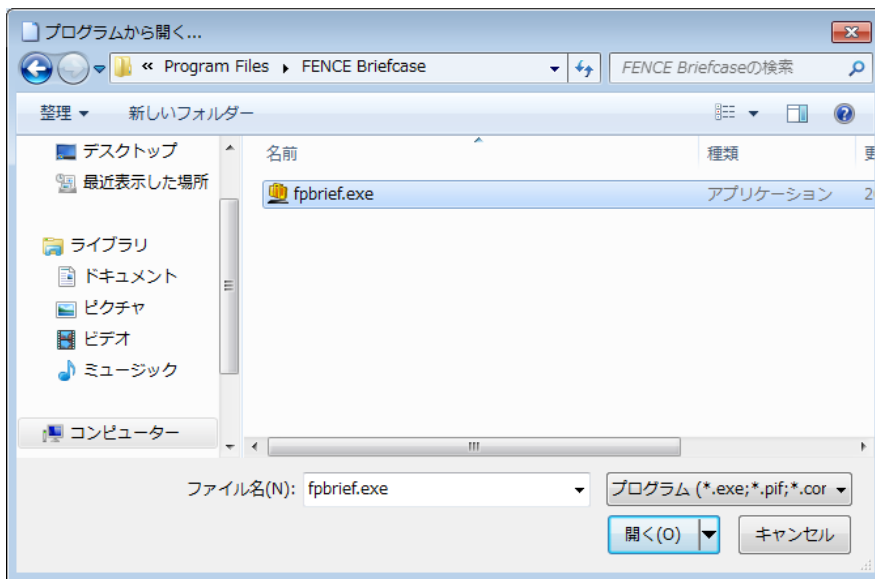
Windows XP の場合、“一覧からプログラムを選択する”を選択します。



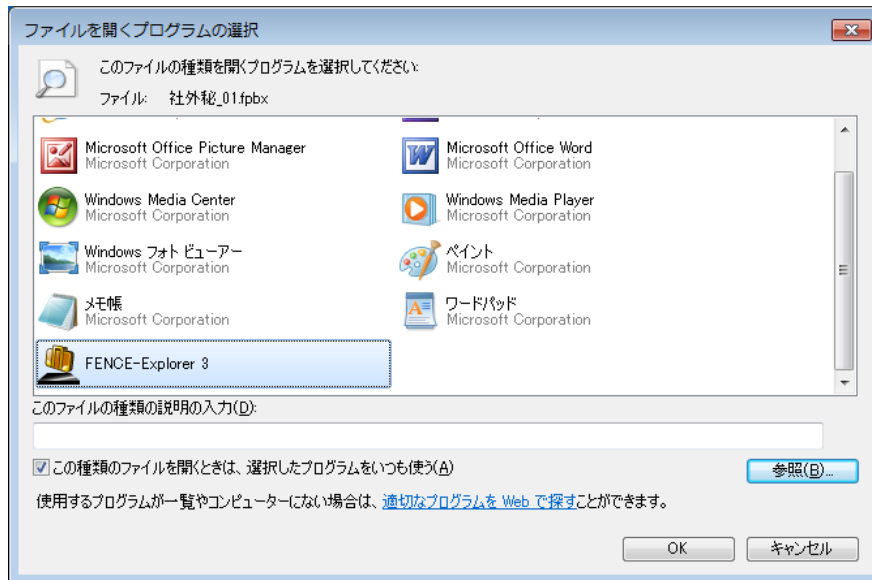
- ④ “ファイルを開くプログラムの選択”画面が表示されるので、“参照”ボタンをクリックします。



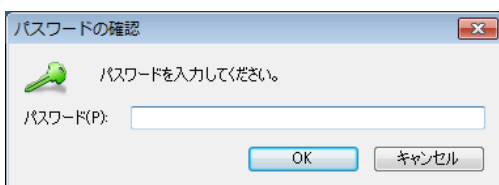
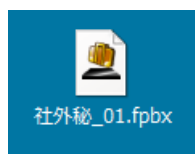
- ⑤ “プログラムから開く...”画面が表示されます。①の FENCE-Explorer (fpbrief.exe)を選択し、“開く”をクリックします。



- ⑥ “ファイルを開くプログラムの選択”画面に“FENCE-Explorer 3”が追加されます。“FENCE-Explorer 3”を選択し、“この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う”チェックを ON にし、“OK”をクリックします。



- ⑦ FENCE ブリーフケースの拡張子が FENCE-Explorer に関連付けられ、②の FENCE ブリーフケースが開きます。



拡張子の関連付けによる導入は以上で完了です。

### 3. 利用方法

FENCE-Explorer を開く際、格納されているファイルによって表示形式が異なります。表示形式は以下の2種類となります。

- ・通常の FENCE ブリーフケース

複数のファイルやフォルダを暗号化したファイルです。FENCE-Explorer で開くと、FENCE ブリーフケースに保存されているファイルの一覧画面が表示されます。

- ・メール本文を暗号化した FENCE ブリーフケース

FENCE-Mail For Gateway にて、メール本文(添付ファイル含む)を暗号化したファイルです。FENCE-Explorer で開くと、暗号化されたメール本文(および添付ファイル)がメール形式で表示されます。

以下に FENCE-Explorer の利用方法について記述します。

#### 3. 1. FENCE-Explorer

ここでは、メールの添付ファイルや通常のファイルを暗号化した FENCE ブリーフケースの使用方法について説明します。

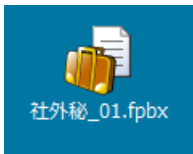
##### 3. 1. 1. FENCEブリーフケースを開く

#### CHECK

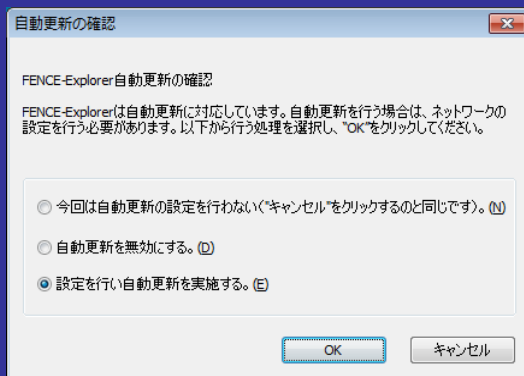
- ✓ パスワード入力回数の制限設定をした FENCE ブリーフケースを開くには、ファイルを書き込み可能な状態にする必要があります。読み取り専用で開こうとすると、エラーメッセージが表示され処理を継続できません。
- ✓ パスワード入力回数の制限設定をした FENCE ブリーフケースを開く際、設定した回数のパスワード認証に失敗すると、FENCE ブリーフケースが削除され、データは復旧できませんのでご注意ください。
- ✓ 有効期限を設定した FENCE ブリーフケースを開く際、設定した有効期限を超えていると、FENCE ブリーフケースが削除され、データは復旧できませんのでご注意ください。
- ✓ FENCE-Mail For Gateway で作成された、メール本文を暗号化した FENCE ブリーフケースを開く場合は“3. 2. メール本文を暗号化した FENCE ブリーフケース”を参照してください。
- ✓ “格納ファイルの取り出しを制限する”を指定したFENCEブリーフケースの取り扱いについては、“3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について”を参照してください。

## — &lt;&lt; 操作手順 &gt;&gt; —

- ① FENCE ブリーフケースをダブルクリックして開くと、“パスワードの確認”画面が表示されます。

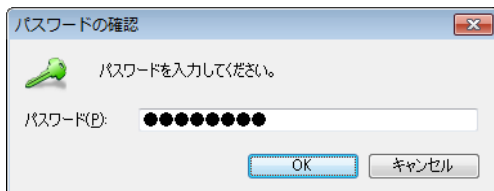
**CHECK**

FENCE ブリーフケースを初めて開く際、“自動更新の確認”画面が表示される場合があります。FENCE-Explorer の自動更新を行うかどうか選択し、OK をクリックしてください（“3. 5. FENCE-Explorer の自動更新”参照）。



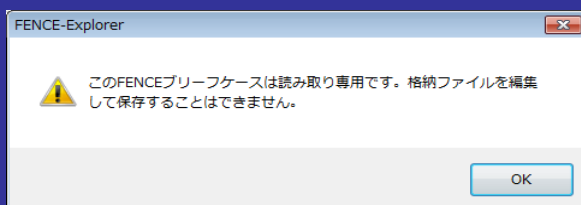
“今回は自動更新の設定を行わない”または“キャンセル”を選択すると、次回の FENCE-Explorer 起動時に“自動更新の確認”画面が再度表示されます。

- ② FENCE ブリーフケース作成時に指定したパスワードを入力し、“OK”をクリックします。



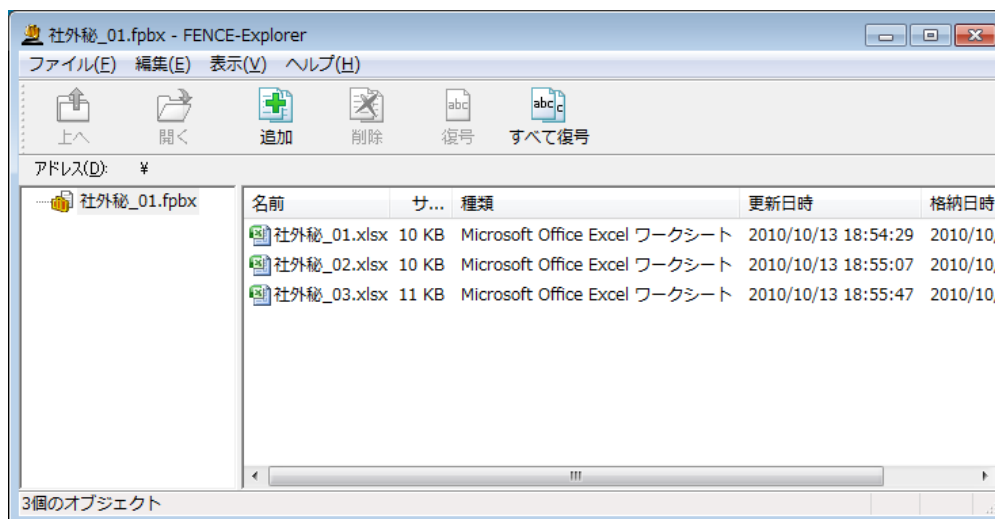
**CHECK**

FENCE ブリーフケース作成時に“格納ファイルの取り出しを制限する”にある“ファイル編集時の「名前を付けて保存」を禁止する”を指定している FENCE ブリーフケースにおいて、“格納ファイルの更新を禁止する”を指定している場合、またはファイルが読み取り専用の場合、FENCE ブリーフケースを開くと以下のメッセージが表示されます。



格納ファイルをアプリケーションで編集しても、保存することができませんのでご注意ください。

## ③ “FENCE-Explorer”画面が開きます。



FENCE-Explorer では、以下の操作が可能です。

- ・格納ファイルの復号

格納ファイルを復号することができます(“3. 1. 2. 格納ファイルの復号手順”参照)。

- ・格納ファイルの更新

格納ファイルをアプリケーションで開いて編集し、更新することができます(“3. 1. 3. 格納ファイルの更新手順”参照)。

- ・FENCE ブリーフケースのパスワードの変更

FENCE ブリーフケースのパスワードを変更することができます(“3. 1. 4. パスワードの変更手順”参照)。

- ・FENCE ブリーフケースを別名で保存

FENCE ブリーフケースを別名で保存することができます(“3. 1. 5. FENCE ブリーフケースを別名で保存”参照)。

### 3. 1. 2. 格納ファイルの復号手順

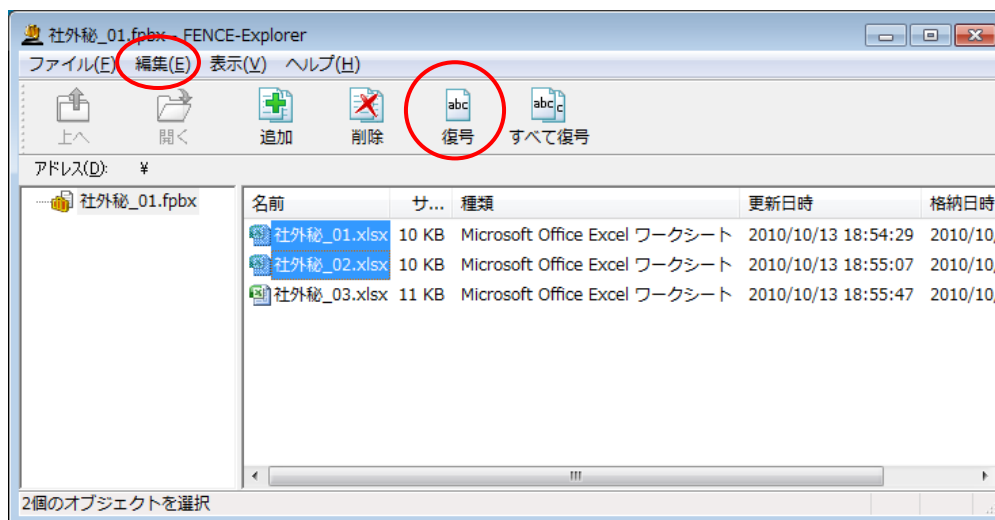
格納ファイルの復号手順を説明します。

#### CHECK

FENCE ブリーフケース作成時、“格納ファイルの取り出しを制限する”を選択した場合（FENCE-Mail For Gateway では“格納ファイルの取り出し制限”で“格納ファイルの取り出しを制限する”を選択した場合）、格納ファイルの復号を行うことはできません（“3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について”参照）。

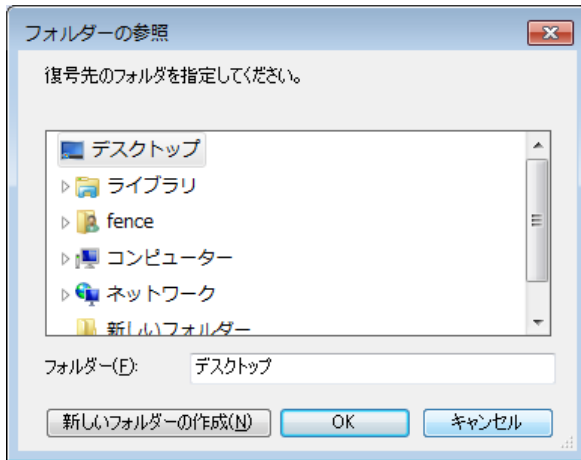
#### — <<操作手順>> —

- ① FENCE ブリーフケースを開きます（“3. 1. 1. FENCE ブリーフケースを開く”参照）。
- ② 復号する格納ファイルを選択して、“編集”メニューから“復号”を選択するか、ツールバーの“復号”をクリックします。

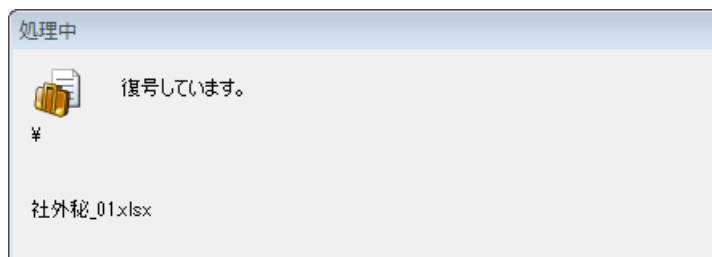


※すべての格納ファイルを復号するには、“編集”メニューから“すべて復号”を選択するか、ツールバーの“すべて復号”をクリックします。

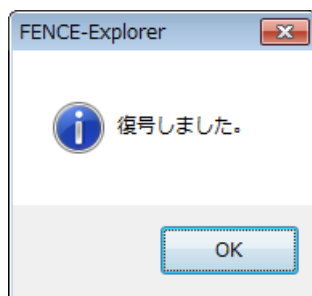
- ③ “フォルダーの参照”画面が表示されるので、復号するファイルの保存先を指定し、“OK”をクリックします。



- ④ ファイルの復号処理が開始され、処理中は以下の画面が表示されます。



- ⑤ 復号処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



### 3. 1. 3. 格納ファイルの更新手順

ここでは、FENCEブリーフケースに格納されているファイルをアプリケーションで編集し、FENCEブリーフケースに反映する(格納ファイルを更新する)手順について説明します。

#### CHECK

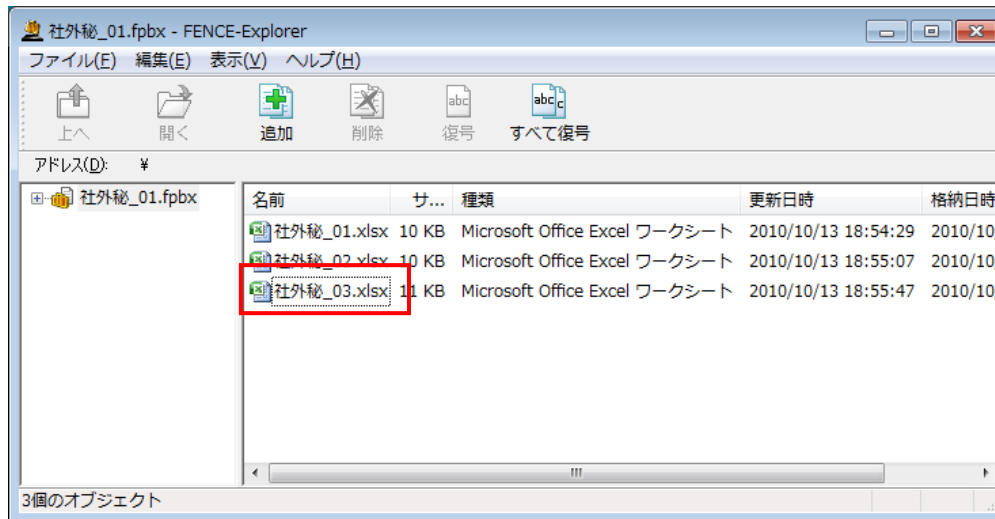
- ✓ 以下の場合、格納ファイルの更新を行うことはできません。
  - ・FENCEブリーフケースを書き込み可能でない状態で開いた場合
  - ・FENCEブリーフケース作成時、“格納ファイルの更新を禁止する”を選択した場合  
(FENCE-Mail For Gatewayでは“格納ファイルの更新”で“許可する”のチェックがない場合)
- ✓ 格納ファイルを更新する処理には、FENCEブリーフケースが存在するドライブに2MB以上の作業領域が必要です。
- ✓ 格納ファイルを更新する操作については以下のアプリケーションで動作を確認しています。
  - ・Microsoft® メモ帳
  - ・Microsoft® ペイント
  - ・Microsoft® ワードパッド
  - ・Microsoft® Word 2003, 2007, 2010
  - ・Microsoft® Excel® 2003, 2007, 2010
  - ・Microsoft® PowerPoint® 2003, 2007, 2010
  - ・Adobe® Acrobat® 8, 9, X
- ✓ “格納ファイルの取り出しを制限する”を指定したFENCEブリーフケースの取り扱いについて、“3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について”を参照してください。

---

 << 操作手順 >>
 

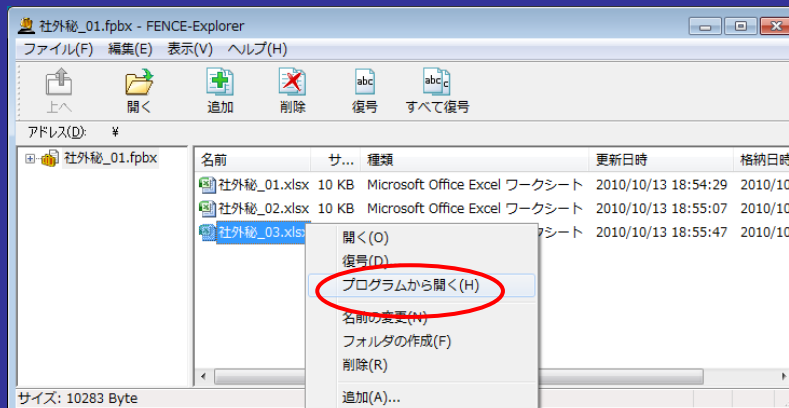
---

- ① FENCE プリビューを開きます(“3. 1. 1. FENCE プリビューを開く”参照)。
- ② 編集対象のファイルをダブルクリックします。



## CHECK

- ✓ 編集対象のファイルを選択し、“編集”メニューから“開く”を選択するか、ツールバーの“開く”をクリックして開くこともできます。
- ✓ 編集対象のファイルを右クリックして、“プログラムから開く”を選択すると、ファイルを開くためのアプリケーションが選択できます。



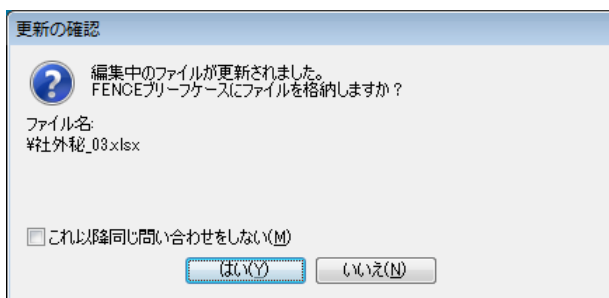
ただし、“格納ファイルの取り出しを制限する”が設定されたFENCE プリビューでは、“プログラムから開く”は選択できません。

- ③ 通常のファイル操作と同じように、関連付けられたアプリケーションでファイルが開きます。ファイルの編集を行い、更新／上書き保存などを行います。

### CHECK

アプリケーションでファイルを編集後、“名前を付けて保存”など、別名で保存した場合、格納ファイルは更新されません。

- ④ ファイルが更新／上書き保存されると、“更新の確認”画面が表示されます。必要に応じて“これ以降同じ問い合わせをしない”を選択し、“はい”または“いいえ”をクリックします。



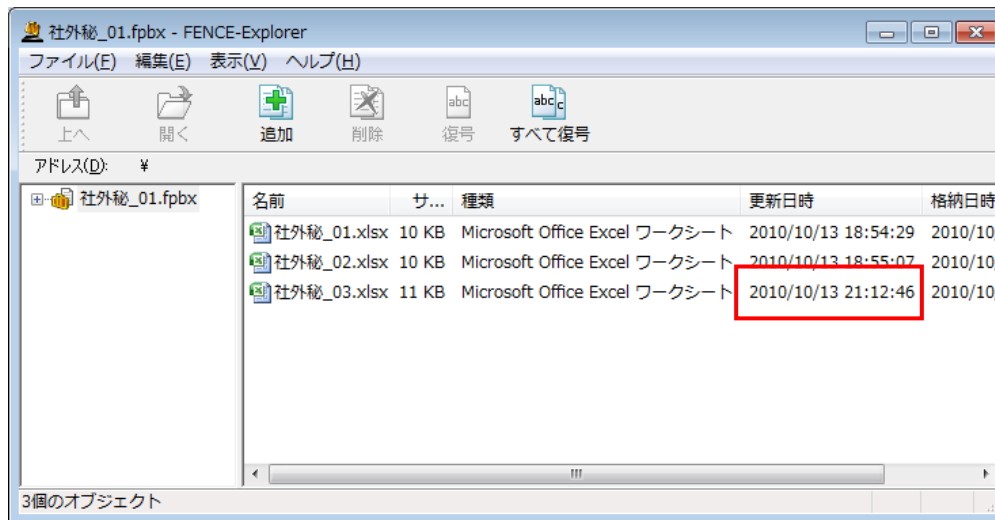
各項目について以下に示します。

項目	動作
はい	格納ファイルを更新します。
いいえ	格納ファイルを更新しません。
これ以降同じ問い合わせをしない	これ以降、“ブリーフケース更新の確認”メッセージは表示されず、選択した動作が適用されます (FENCE-Explorer を終了するまで有効です)。

### CHECK

Microsoft® Office ファイルについて、格納ファイルを開いたまま、同じファイルに対して再度開く操作を行うと、ファイルが更新／上書き保存されていなくても“更新の確認”画面が表示されることがあります。

- ⑤ ④で“はい”を選択した場合は、格納ファイルが更新されます。“いいえ”を選択した場合は、格納ファイルは更新されません。



### 3. 1. 4. パスワードの変更手順

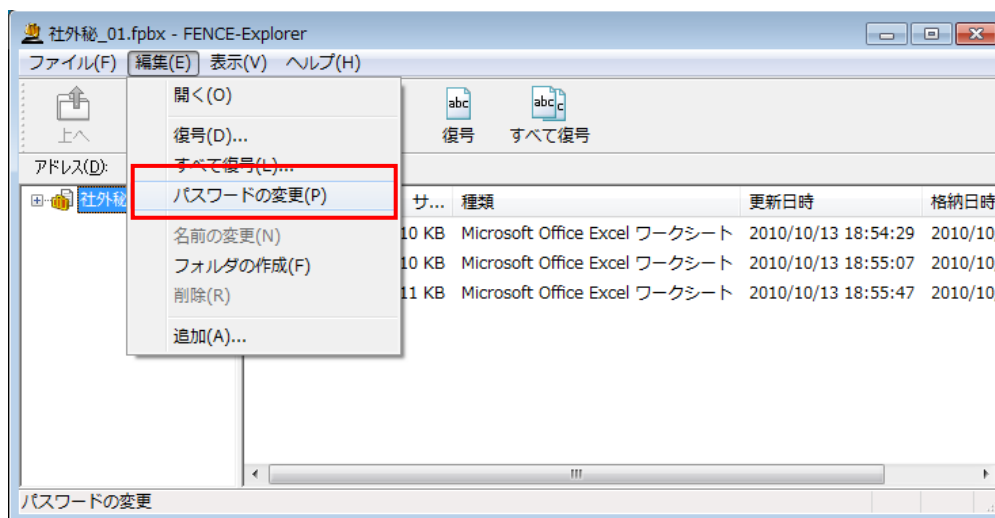
ここでは、FENCE ブリーフケースのパスワードを変更する手順について説明します。

#### CHECK

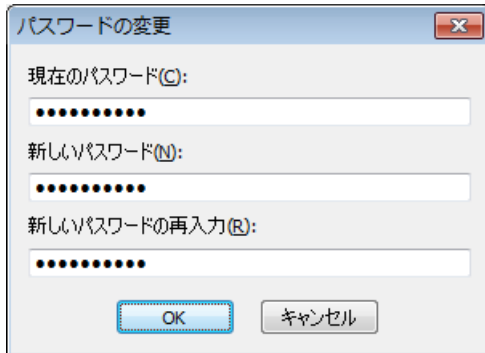
- ✓ パスワード変更ができるのは、以下の製品で作成された FENCE ブリーフケースです。
  - ・FENCE-Pro V06L01 以降
  - ・FENCE-Mail For Gateway V02L01 以降
- ✓ 以下の場合、パスワードの変更を行うことはできません。
  - ・FENCE ブリーフケース作成時に“格納ファイルの更新を禁止する”を選択した場合（FENCE-Mail For Gateway では“格納ファイルの更新”で“許可する”のチェックがない場合）
  - ・FENCE ブリーフケースが書き込み可能でない状態で開いた場合
  - ・FENCE ブリーフケース作成時に“パスワードの変更を許可する”を選択していない場合

#### — <<操作手順>> —

- ① FENCE ブリーフケースを開きます(“3. 1. 1. FENCE ブリーフケースを開く”参照)。
- ② “編集”メニューから“パスワードの変更”を選択します。



- ③ “パスワードの変更”画面が表示されます。“現在のパスワード”、および“新しいパスワード”、“新しいパスワードの再入力”を入力し、“OK”をクリックします。



パスワードの変更

現在のパスワード(P):  
●●●●●●●●

新しいパスワード(N):  
●●●●●●●●

新しいパスワードの再入力(R):  
●●●●●●●●

OK キャンセル

### CHECK

- ✓ FENCE ブリーフケース作成時、パスワードの条件に“パスワードの複雑性を強制する”を指定した場合、新しいパスワードにも最低1文字以上の英字、数字、記号をそれぞれ含む必要があります。
- ✓ FENCE ブリーフケース作成時、“パスワードの長さの最小値”を指定した場合、新しいパスワードの文字数を“パスワードの長さの最小値”以上にする必要があります。

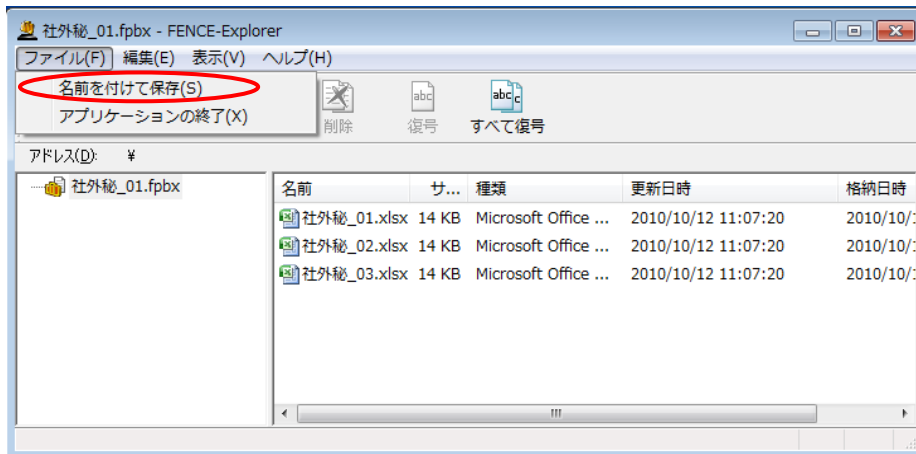
- ④ パスワードが変更されます。次回、FENCE ブリーフケースを開く際に、新しいパスワードの入力が必要になります。

### 3. 1. 5. FENCEブリーフケースを別名で保存

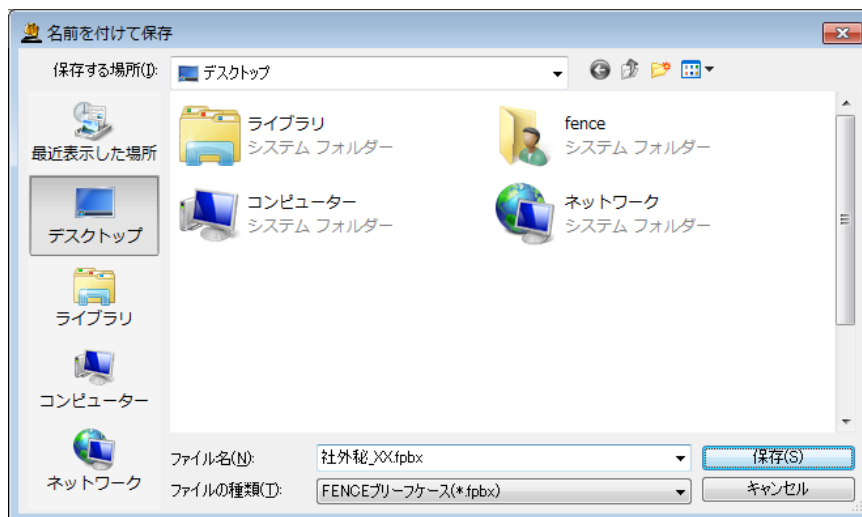
ここでは、FENCE ブリーフケースに別の名前を付けて保存する手順について説明します。

#### — << 操作手順 >> —

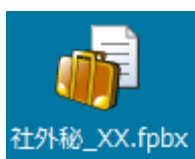
- ① “FENCE-Explorer”画面で、“ファイル”メニューから“名前を付けて保存”を選択します。



- ② “名前を付けて保存”画面が表示されるので、保存先フォルダとファイル名を指定し、“保存”をクリックします。



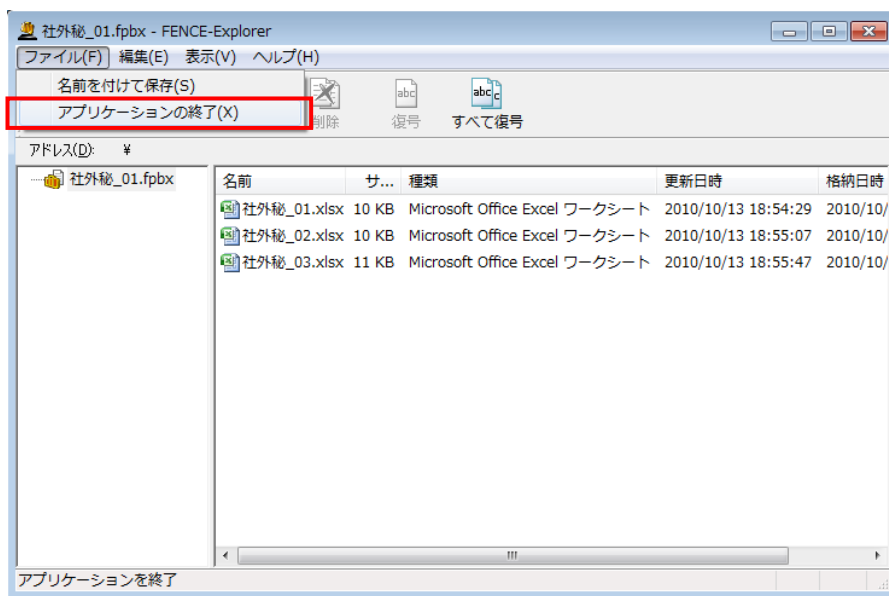
- ③ 保存先フォルダに FENCE ブリーフケースが保存されます。



### 3. 1. 6. FENCEブリーフケースを閉じる

— << 操作手順 >> —

- ① “FENCE-Explorer”画面で、“ファイル”メニューから“アプリケーションの終了”を選択するか、画面右上の“×”ボタンをクリックします。

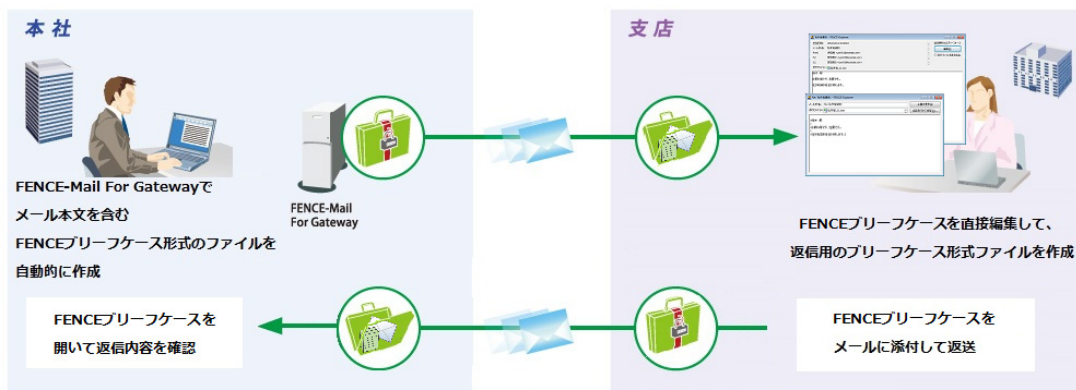


- ② FENCE ブリーフケースが閉じられ、FENCE-Explorer が終了します。

### 3. 2. メール本文を暗号化したFENCEブリーフケース

メール・セキュリティ製品である“FENCE-Mail For Gateway”では、送信メールの本文を自動的に暗号化することができます。暗号化されたメール本文は、FENCE ブリーフケース形式で添付ファイルとして送付されます。また、送信メールにファイルが添付されていた場合は、添付ファイルも含めて暗号化されません。

メール本文を暗号化した FENCE ブリーフケースは、一般的なメールソフトを利用する感覚で、返信用の FENCE ブリーフケースを作成することができます。作成した FENCE ブリーフケースをメールに添付して返送することにより、メール本文および添付ファイルの安全なやり取りが可能となります。



ここでは、メール本文を暗号化した FENCE ブリーフケースの操作方法について説明しています。

#### 3. 2. 1. FENCEブリーフケースを開く

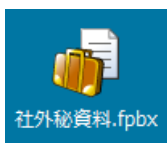
##### CHECK

- ✓ パスワード入力回数の制限設定をした FENCE ブリーフケースを開くには、ファイルを書き込み可能な状態にする必要があります。読み取り専用で開こうとすると、エラーメッセージが表示され処理を継続できません。
- ✓ パスワード入力回数の制限設定をした FENCE ブリーフケースを開く際、設定した回数のパスワード認証に失敗すると、FENCE ブリーフケースが削除され、データは復旧できませんのでご注意ください。
- ✓ 有効期限を設定した FENCE ブリーフケースを開く際、設定した有効期限を超えていると、FENCE ブリーフケースが削除され、データは復旧できませんのでご注意ください。
- ✓ メール本文を暗号化したFENCEブリーフケースを開くには、FENCEブリーフケース復号ツール 2.1以降またはFENCE-Explorerが必要となります。
- ✓ “格納ファイルの取り出しを制限する”を指定したFENCEブリーフケースの取り扱いについて、“3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について”を参照してください。

---

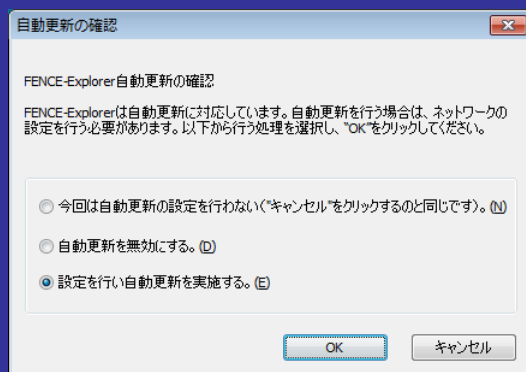
 — << 操作手順 >> —

- ① FENCE ブリーフケースをダブルクリックして開くと、“パスワードの確認”画面が表示されます。



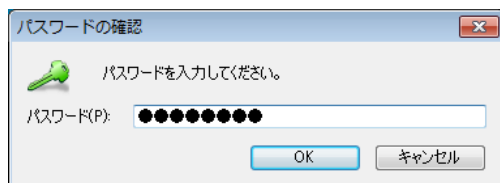
## CHECK

FENCE ブリーフケースを初めて開く際、“自動更新の確認”画面が表示される場合があります。FENCE-Explorer の自動更新を行うかどうか選択し、OK をクリックしてください(“3. 5. FENCE-Explorer の自動更新”)。



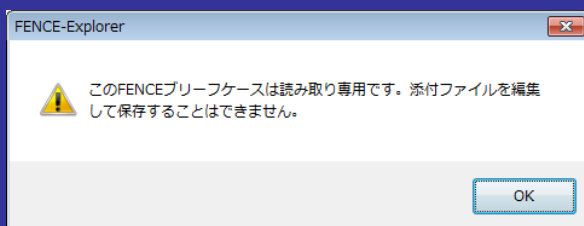
“今回は自動更新の設定を行わない”または“キャンセル”を選択すると、次回の FENCE-Explorer 起動時に“自動更新の確認”画面が再度表示されます。

- ② FENCE ブリーフケース作成時に指定したパスワードを入力し、“OK”をクリックします。



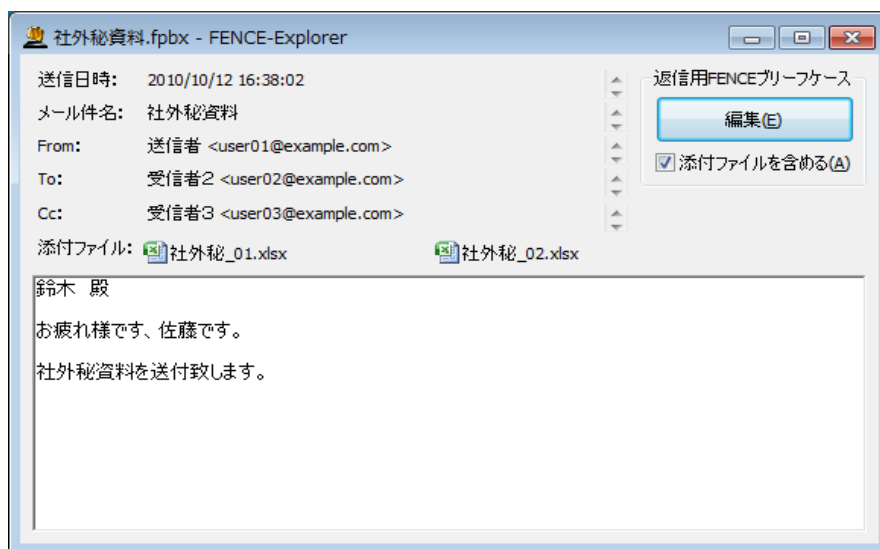
**CHECK**

FENCE ブリーフケース作成時に“格納ファイルの取り出しを制限する”にある“ファイル編集時の「名前を付けて保存」を禁止する”を指定している FENCE ブリーフケースにおいて、“格納ファイルの更新を禁止する”を指定している場合、またはファイルが読み取り専用の場合、FENCE ブリーフケースを開くと以下のメッセージが表示されます。



添付ファイルをアプリケーションで編集しても、保存することができませんのでご注意ください。

- ③ “FENCE-Explorer”画面が開き、暗号化されたメール本文と添付ファイルがメール形式で表示されます。添付ファイルは通常のメーラのように参照することができます。



各項目について以下に示します。

項目	説明
送信日時	メールの送信日時を表示します。
メール件名	メールの件名を表示します。
From	メールの送信者アドレス情報(From)を表示します。
To	メールの受信者アドレス情報(To)を表示します。
Cc	メールのアドレス情報(Cc)を表示します。 ※アドレス情報(Cc)が存在する場合のみ
添付ファイル	メールに添付されているファイルを表示します。ファイルは参照することが可能です(“3. 2. 2. 添付ファイルの参照手順”参照)。
返信用 FENCE ブリーフケース	
編集	“3. 2. 4. 返信用 FENCE ブリーフケースの作成手順”を参照してください。
添付ファイルを含める	“3. 2. 4. 返信用 FENCE ブリーフケースの作成手順”を参照してください。

FENCE-Explorer では、以下の操作が可能です。

・添付ファイルの参照

添付ファイルを参照することができます(“3. 2. 2. 添付ファイルの参照手順”参照)。

・添付ファイルの復号

添付ファイルを復号することができます(“3. 2. 3. 添付ファイルの復号手順”参照)。

・返信用 FENCE ブリーフケースの作成

FENCE ブリーフケースを編集して返信用の FENCE ブリーフケースを作成することができます。作成した FENCE ブリーフケースをメールに添付して返送することにより、返信内容や添付ファイルを暗号化したままメールを送信することができます(“3. 2. 4. 返信用 FENCE ブリーフケースの作成手順”参照)。

・返信用 FENCE ブリーフケースの添付ファイル更新

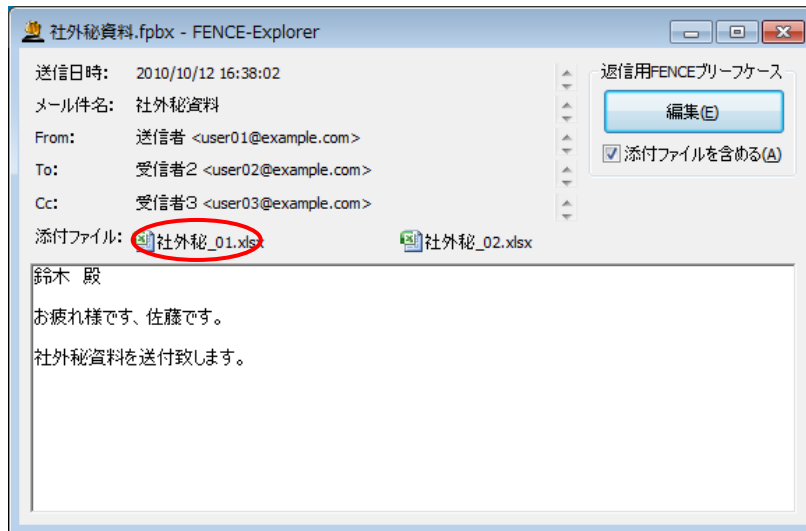
返信用 FENCE ブリーフケースの添付ファイルをアプリケーションで開いて編集し、更新することができます(“3. 2. 5. 添付ファイルの更新手順”参照)。

### 3. 2. 2. 添付ファイルの参照手順

添付ファイルの参照手順を説明します。

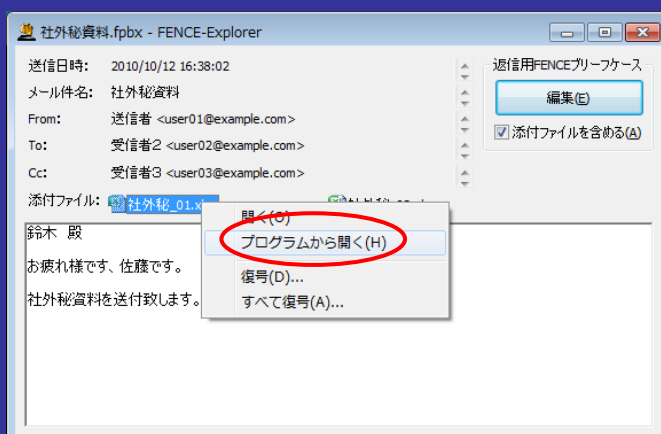
#### — <<操作手順>> —

- ① FENCE ブリーフケースを開きます(“3. 2. 1. FENCE ブリーフケースを開く”参照)。
- ② 参照する添付ファイルをダブルクリックします。



## CHECK

- ✓ 参照したファイルは読み取り専用です。編集することはできません。
- ✓ 対象のファイルを右クリックして、“開く”を選択して開くこともできます。また、“プログラムから開く”を選択すると、ファイルを開くためのアプリケーションが選択できます。



ただし、“格納ファイルの取り出しを制限する”が設定された FENCE ブリーフケースでは、“プログラムから開く”は選択できません。

### 3. 2. 3. 添付ファイルの復号手順

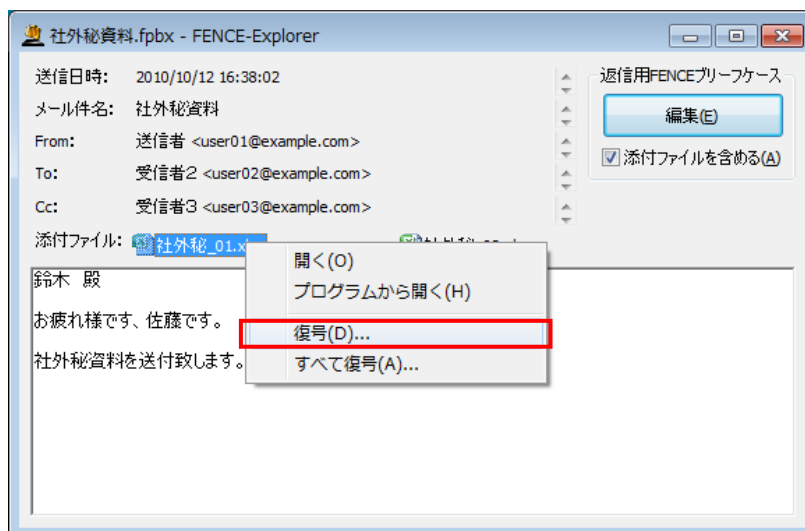
添付ファイルの復号手順を説明します。

#### CHECK

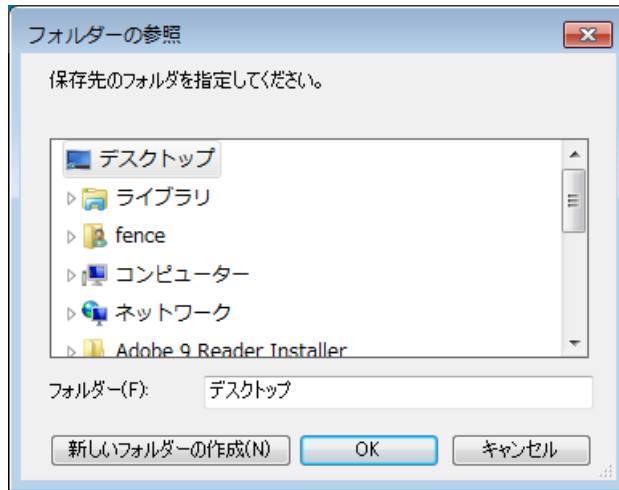
FENCE-Mail For Gateway の設定で、FENCE ブリーフケース作成時“格納ファイルの取り出し制限”で“格納ファイルの取り出しを制限する”を選択した場合、添付ファイルの復号を行うことはできません。

#### — << 操作手順 >> —

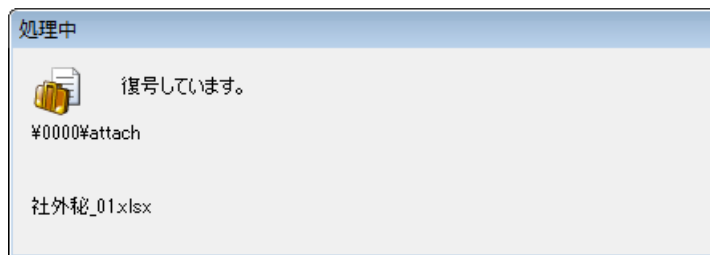
- ① FENCE ブリーフケースを開きます(“3. 2. 1. FENCE ブリーフケースを開く”参照)。
- ② 復号する添付ファイルを右クリックし、“復号”を選択します。  
※すべての添付ファイルを復号するには、“すべて復号”を選択します。



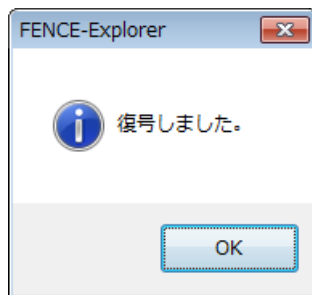
- ③ “フォルダーの参照”画面が表示されるので、復号する添付ファイルの保存先を指定し、“OK”をクリックします。



- ④ ファイルの復号処理が開始され、処理中は以下のような画面が表示されます。



- ⑤ 復号処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



### 3. 2. 4. 返信用FENCEブリーフケースの作成手順

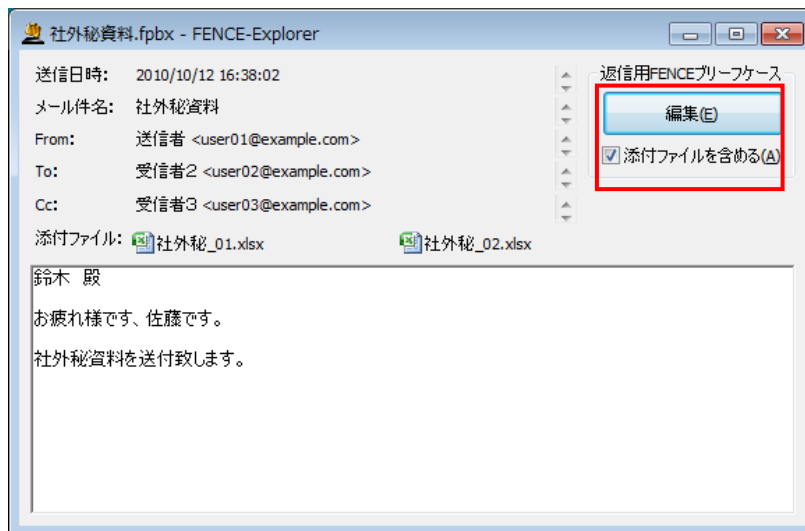
返信用 FENCE ブリーフケース作成・編集手順を説明します。

#### CHECK

FENCE-Mail For Gateway の設定において、“格納ファイルの更新”で“許可する”のチェックがない場合、返信用 FENCE ブリーフケースは作成できません。

#### — << 操作手順 >> —

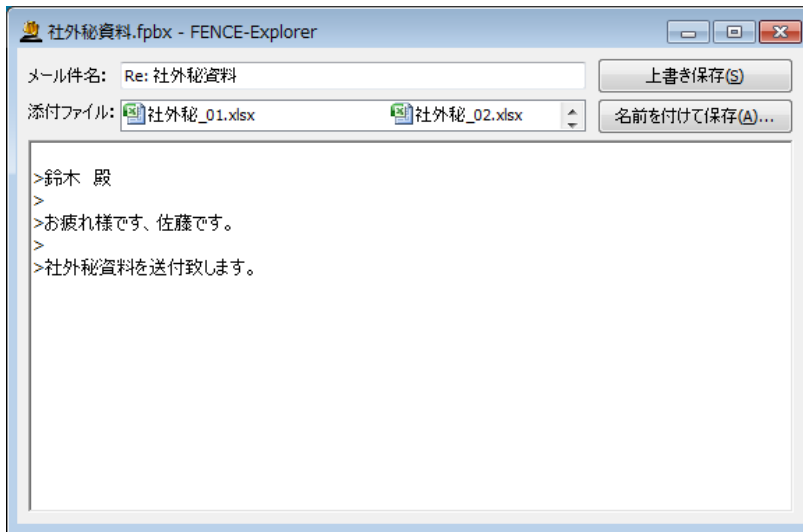
- ① FENCE ブリーフケースを開きます(“3. 2. 1. FENCE ブリーフケースを開く”参照)。
- ② “添付ファイルを含める”かどうかを指定し、“編集”をクリックします。



各項目について以下に示します。

項目	動作
編集	FENCE ブリーフケースの編集画面へ移動します。
添付ファイルを含める	チェックを ON にすると、添付ファイルを含めたまま編集画面へ移動します。 チェックを OFF にすると、添付ファイルなしで編集画面へ移動します。

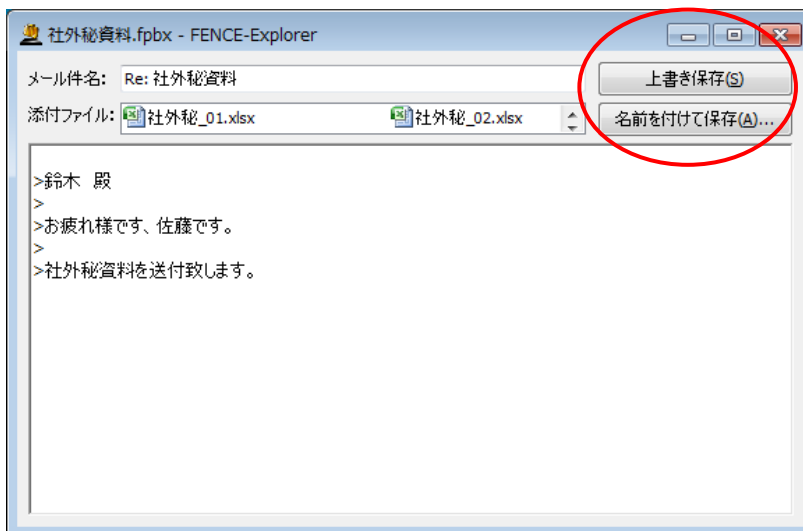
- ③ FENCE ブリーフケースの編集が可能となります。



※上図は、②で“添付ファイルを含める”を ON にした場合のイメージです。

- ④ FENCE ブリーフケースを編集します。添付ファイルの更新を行う場合は、“3. 2. 5. 添付ファイルの更新手順”を参照してください。

- ⑤ “上書き保存”または“名前を付けて保存”をクリックし、FENCE ブリーフケースを保存します。



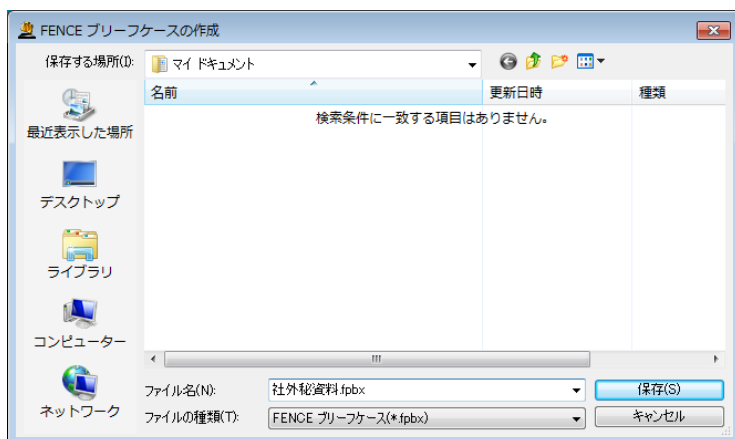
各項目について以下に示します。

項目	動作
上書き保存	FENCE ブリーフケースを上書き保存します。
名前を付けて保存	FENCE ブリーフケースの保存先と名前を指定して保存します。

## CHECK

読み取り専用属性など、FENCE ブリーフケースの更新ができない場合、“上書き保存”ボタンは選択できません。FENCE ブリーフケースを保存する場合は、“名前を付けて保存”をクリックして保存先を指定してください。

- ⑥ “名前を付けて保存”をクリックした場合、“FENCE ブリーフケースの作成”画面が表示されるので、ファイル名を指定し、“保存”をクリックします。



- ⑦ 保存処理が終了します。

### 3. 2. 5. 添付ファイルの更新手順

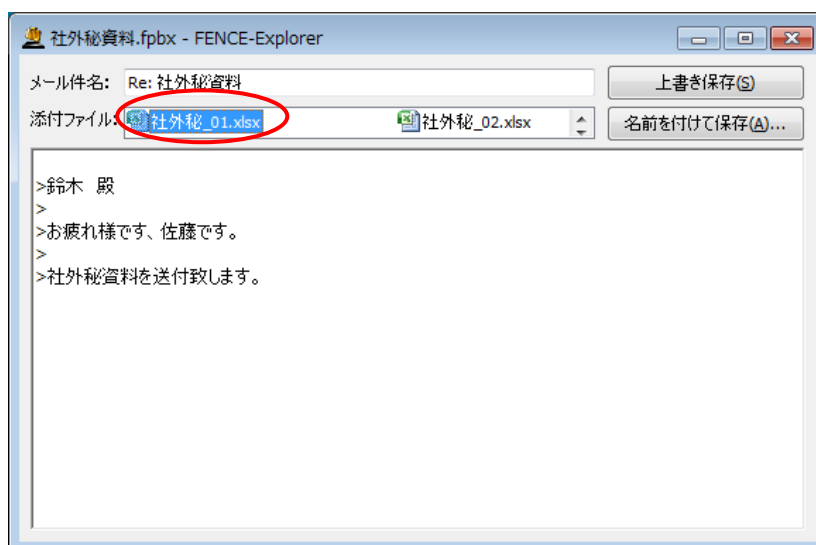
ここでは、返信用 FENCE ブリーフケースに添付されているファイルをアプリケーションで編集、更新する手順について説明します。

#### CHECK

- ✓ FENCE-Mail For Gateway の設定において、“格納ファイルの更新”で“許可する”のチェックがない場合、添付ファイルの更新を行うことはできません。
- ✓ 添付ファイルを更新する処理には、FENCE ブリーフケースが存在するドライブに 2MB 以上の作業領域が必要です。
- ✓ 添付ファイルを更新する操作については以下のアプリケーションで動作を確認しています。
  - ・Microsoft® メモ帳
  - ・Microsoft® ペイント
  - ・Microsoft® ワードパッド
  - ・Microsoft® Word 2003, 2007, 2010
  - ・Microsoft® Excel® 2003, 2007, 2010
  - ・Microsoft® PowerPoint® 2003, 2007, 2010
  - ・Adobe® Acrobat® 8, 9, X
- ✓ “格納ファイルの取り出しを制限する”を指定したFENCEブリーフケースの取り扱いについて、“3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について”を参照してください。

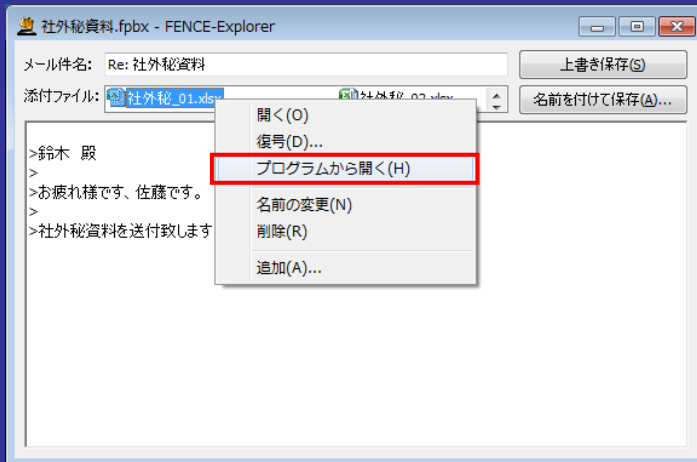
#### — << 操作手順 >> —

- ① “3. 2. 4. 返信用 FENCE ブリーフケースの作成手順”①～②の手順に従って、“FENCE-Explorer”画面を開きます。
- ② “FENCE-Explorer”画面で、編集対象のファイルをダブルクリックします。



**CHECK**

対象のファイルを右クリックして、“開く”を選択して開くこともできます。また、“プログラムから開く”を選択すると、ファイルを開くためのアプリケーションが選択できます。



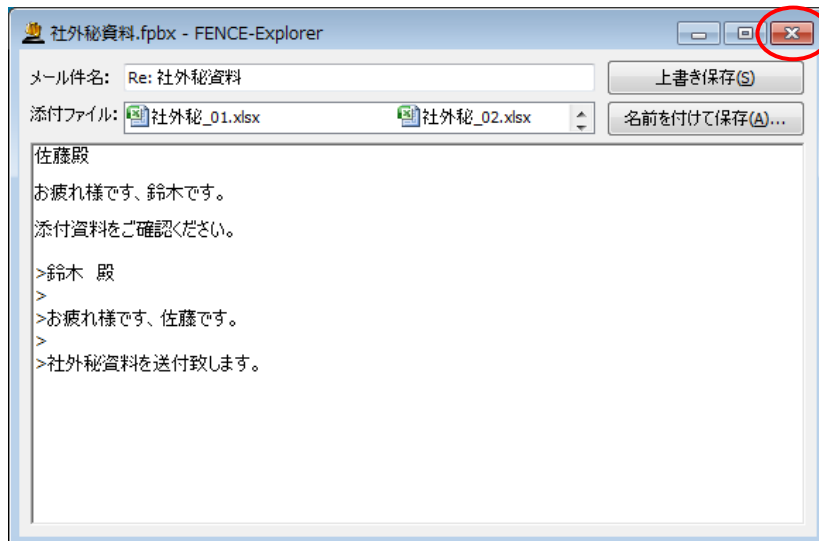
ただし、“格納ファイルの取り出しを制限する”が設定された FENCE ブリーフケースでは、“プログラムから開く”は選択できません。

- ③ 通常のファイル操作と同じように、関連付けられたアプリケーションでファイルが開きます。ファイルの編集を行い、更新／上書き保存などを行います。

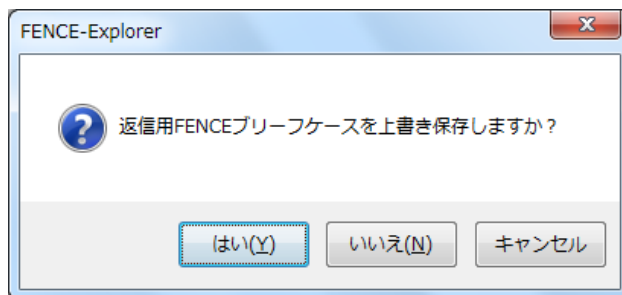
### 3. 2. 6. FENCEブリーフケースを閉じる

#### — << 操作手順 >> —

- ① “FENCE-Explorer”画面で、画面右上の“×”ボタンをクリックします。

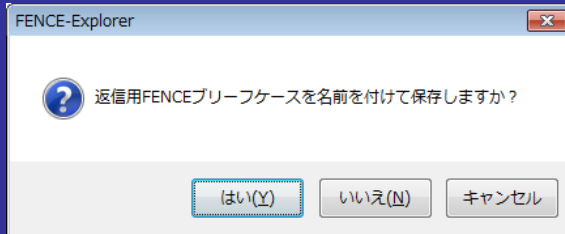


- ② 編集内容が保存されていない場合、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。編集内容を保存して終了する場合は“はい”を、保存しないで終了する場合は“いいえ”をクリックします。



**CHECK**

FENCEブリーフケースを書き込み可能でない状態で開いている場合、編集内容を保存せずに閉じようとする、以下の確認メッセージが表示されます。編集した内容を別名で保存する場合は“はい”をクリックして保存先を選択してください。



- ③ FENCE ブリーフケースが閉じられ、FENCE-Explorer が終了します。

### 3. 3. 格納ファイルの取り出し制限について

FENCE ブリーフケースに格納されたファイルの複製や、内容を安易にコピーできないように、FENCE ブリーフケースの作成時に格納ファイルの取り出し制限を指定することができます。取り出し制限を指定すると、FENCE-Explorer で格納ファイルを開く際、“復号”ボタンを選択できないなど、格納ファイルから平文で保存することができなくなります。

“格納ファイルの取り出しを制限する”を指定した FENCE ブリーフケースに関して、さらに取り出し制限のオプションを指定し作成されていると、以下のような動作が制限されます。

取り出し制限オプション	動作内容
ファイル編集時の「名前を付けて保存」を禁止する	格納ファイルをアプリケーションで開いたとき、アプリケーションの“名前を付けて保存”ができなくなります。
ファイル編集時の印刷を禁止する	格納ファイルをアプリケーションで開いたとき、アプリケーションの“印刷”ができなくなります。
ファイル編集時のクリップボードへのコピーを禁止する	格納ファイルをアプリケーションで開いている間、クリップボードへのコピーができなくなります。
ファイル編集時の画面コピー取得を禁止する	格納ファイルをアプリケーションで開いている間、PrintScreen による画面コピーが使用できなくなります。

#### CHECK

- ✓ 取り出し制限オプションのいずれかを指定したFENCEブリーフケースを開くには、以下の条件を満たす必要があります。
  - ・OSがWindows 7、Windows Vista、Windows XP のいずれかであること
  - ・32ビット版OSであること
  - ・OSが日本語または英語表示であること
- ✓ “ファイル編集時の「名前を付けて保存」を禁止する”を指定しているFENCEブリーフケースにおいて、“格納ファイルの更新を禁止する”を指定している、またはファイルが読み取り専用の場合、格納ファイルをアプリケーションで編集しても、保存することができませんのでご注意ください。
- ✓ “ファイル編集時のクリップボードへのコピーを禁止する”を指定したFENCEブリーフケースを開く際、格納ファイルをアプリケーションで開いている間、システム全体のクリップボードへのコピーができませんのでご注意ください。
- ✓ “ファイル編集時の画面コピー取得を禁止する”を指定したFENCEブリーフケースを開く際、格納ファイルをアプリケーションで開いている間、システム全体のPrintScreenによる画面コピーができませんのでご注意ください。

### 3. 3. 1. 格納ファイルを開くアプリケーションの制限

“格納ファイルの取り出しを制限する”を指定した FENCE ブリーフケースでは、格納ファイルが以下の拡張子の場合、ファイルを開くことのできるアプリケーションが限定されます。

拡張子に対応するアプリケーションがインストールされていない場合、格納ファイルを開くことができませんのでご注意ください。

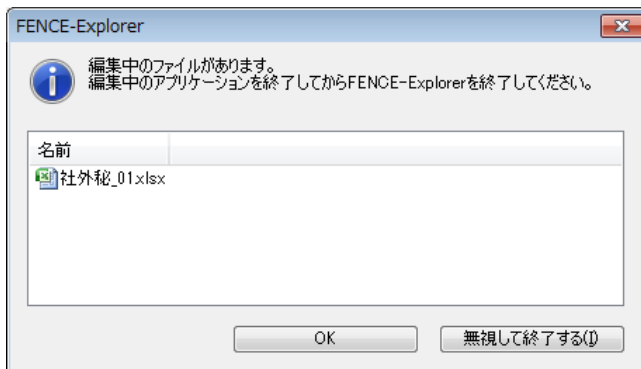
拡張子	アプリケーション
txt	Microsoft® メモ帳
bmp、jpg、png	Microsoft® ペイント
doc、docx、docm	Microsoft® Word 2003, 2007, 2010 Microsoft® Word Viewer
xls、xlsx、xlsb、xlsm	Microsoft® Excel® 2003, 2007, 2010 Microsoft® Excel® Viewer
ppt、pptx、pptm、pps、ppsm、 ppsx	Microsoft® PowerPoint® 2003, 2007, 2010 Microsoft® PowerPoint® Viewer
pdf	Adobe® Acrobat® 8, 9, X Adobe® Reader® 8, 9, X

#### CHECK

“格納ファイルの取り出しを制限する”を指定したFENCEブリーフケースにおいて、Microsoft® PowerPoint®が既に起動している環境では、Microsoft® PowerPoint®に関連付けられた格納ファイルを開くことができません。Microsoft® PowerPoint®に関連付けられた格納ファイルを開くには、起動しているMicrosoft® PowerPoint®を終了してください。

### 3. 4. FENCEブリーフケースを閉じる際の注意事項

格納ファイルアプリケーションを開いているときに FENCE ブリーフケースを閉じようとする、以下のような画面が表示される場合があります。



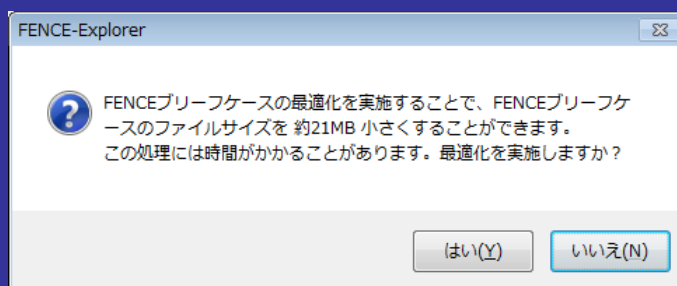
※ “格納ファイルの取り出しを制限する”が適用された FENCE ブリーフケースでは、“無視して終了する”ボタンは表示されません。

各ボタンがクリックされたときの動作は以下のようになります。

項目	動作
OK	“FENCE-Explorer”画面に戻ります。 格納ファイルを開いているアプリケーションを終了してから FENCE-Explorer を終了してください。
無視して終了する	“FENCE-Explorer”画面を閉じます。 (通常はこのボタンを使用しないでください)

## CHECK

格納ファイルを編集した後に“FENCE-Explorer”画面を閉じる際、以下のような画面が表示されることがあります。



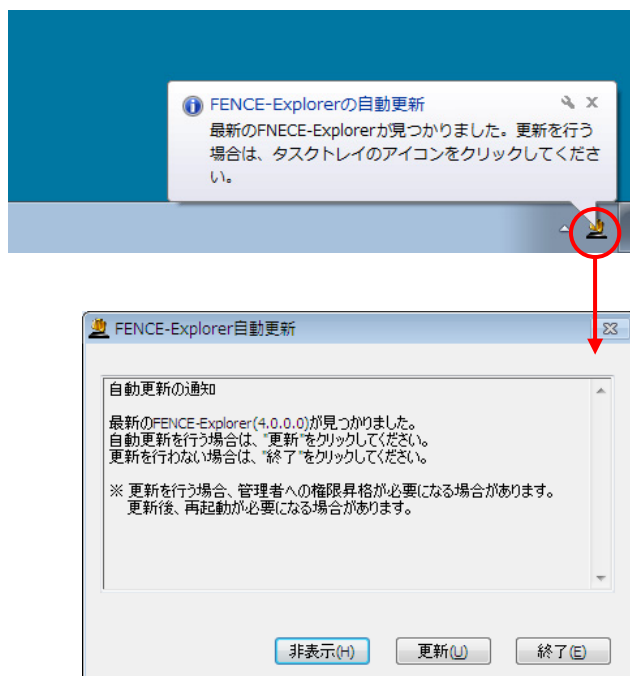
FENCE ブリーフケースの最適化を行うと、ファイルサイズを小さくすることができます。ただし、この処理には時間がかかることがあります。

### 3. 5. FENCE-Explorerの自動更新

FENCE-Explorer の最新版は本製品のホームページに公開されています。FENCE-Explorer が更新された場合、FENCE-Explorer の最新版をダウンロードして適用することで、FENCE-Explorer を最新の状態に保つことが可能です。

さらに、FENCE-Explorer の自動更新機能を有効にすると、インストールされている FENCE-Explorer が最新版かどうか定期的に確認します。最新版が公開されている場合にはユーザに通知され、最新版を適用することができます。これにより、FENCE-Explorer の更新を意識せずに FENCE ブリーフケースをご利用いただけます。

ただし、拡張子の関連付けにより、FENCE-Explorer を導入した場合、自動更新機能を利用できませんので、本製品のホームページから最新版をダウンロードしてください。



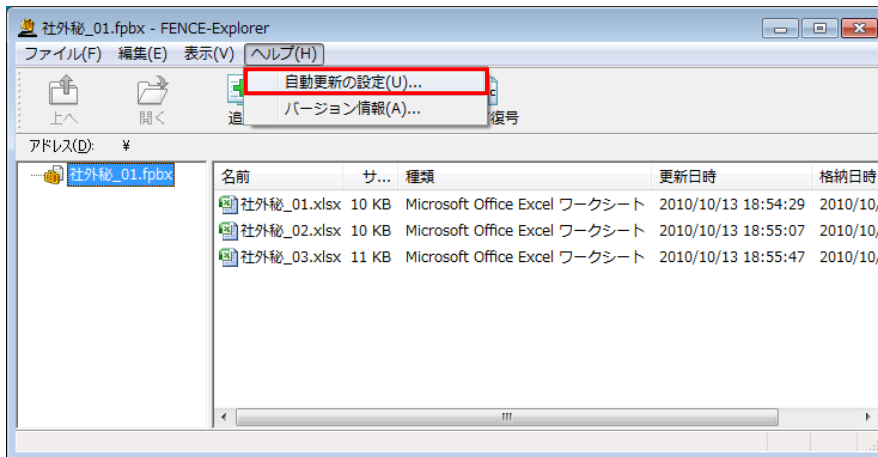
FENCE-Explorer の自動更新の通知イメージ

### 3. 5. 1. FENCE-Explorer自動更新の設定

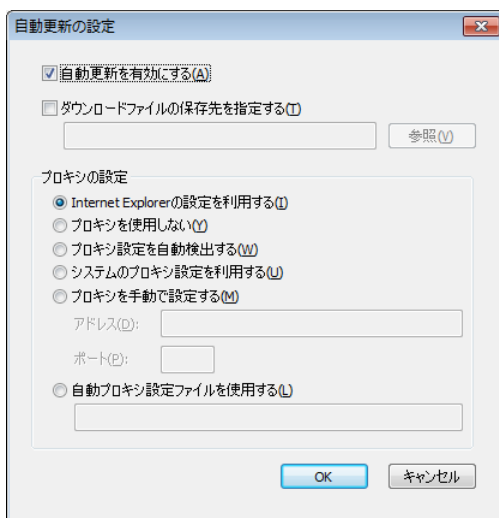
ここでは、FENCE-Explorer 自動更新の設定方法を説明します。

#### — <<操作手順>> —

- ① “FENCE-Explorer” 画面で、“ヘルプ”メニューから“自動更新の設定”を選択します。



- ② “自動更新の設定”画面で、設定項目を入力し、“OK”をクリックします。



各設定項目について以下に示します。

項目名	内容	
自動更新を有効にする	FENCE-Explorer の自動更新を有効にするかどうかを指定します。自動更新を有効にすると、インストールされている FENCE-Explorer が最新版かどうか定期的に確認され、最新版が公開されている場合には自動的に更新されます。	
ダウンロードファイルの保存先を指定する	ダウンロードファイルの保存先を指定します。“参照”をクリックしてフォルダを選択することもできます。 ※“自動更新を有効にする”をチェックした場合のみ設定することができます。	
プロキシの設定	プロキシの設定を行います。以下の設定方法のうちのいずれかを選択します。 ※“自動更新を有効にする”をチェックした場合のみ設定することができます。	
	Internet Explorer の設定を利用する	Internet Explorer のプロキシ設定を利用します。
	プロキシを使用しない	プロキシを使用しません。
	プロキシ設定を自動検出する	DHCP、DNS の自動プロキシ設定ファイルを検索し、利用します。
	システムのプロキシ設定を利用する	OS で設定されたプロキシ設定を利用します。
	プロキシを手動で設定する	指定されたアドレスとポート番号を利用します。
	自動プロキシ設定ファイルを使用する	自動プロキシ設定ファイルの参照先 URL を指定します。

FUJITSU